

判断力トレーニング(急変時編)研修会
～「なにか変、おかしい！」いつもと違うことに気づく力を養う～



開催しました

講師：佛教大学保健医療技術学部看護学科
在宅看護学准教授 清水奈穂美氏



1. 日時 令和7年12月13日(土)13:30～16:30
2. 開催方法 オンライン開催(ZOOM)
3. 参加者数 33名

訪問看護師の困りごとの中で最も多いとされる「緊急時の対応」について、講師からは、日頃から判断力を意識してトレーニングしておくことで、いざという時にも落ち着いて対応できるようになる、というお話がありました。

講師が提唱する「思考サイクル(4つのフレームワーク)」や、陥りやすいバイアス、利用者や家族の言動を尊重することを大切にしたい事例紹介はとてもわかりやすく、理解しやすい内容でした。

経験だけに頼るのではなく、考え方の手順を学べたことで、日常の看護にすぐに活かせる学びが得られました。多くの方にぜひおすすめしたい内容であり、トレーニングを重ねることで、緊急時にも慌てずに判断できる力を身につける一助になると感じました。

参加者のアンケートより(抜粋)

- ・頭で理解して日々行っている事を研修をとおして改めて学ぶ事が出来ました。思考サイクルのフレームワークを意識して日々の看護実践に活かして行きたいです。
- ・常に仮説予測が必要であることを理論用いて展開することが可視化された内容でよかった。グループワークできたこともよかった。
- ・普段、考えて看護をしているつもりでも考えが不足していることに気が付いた。認知バイアスが結構多いことが分かった。実際の業務中に判断力トレーニングを実施していくという目標が出来た講義であった。
- ・訪問時の判断について偏った意見を持つことがあったので幅広くみられるよう視点を広げていきたいと感じました。

